

デートDVとは・・・

交際相手からの暴力のことです。DV（ドメスティック・バイオレンス）は夫婦間だけでなく、学生の間、婚姻前の交際でも起こっています。

デートDVの原因は、相手を自分の思いどおりにしようとする「力による支配」や女らしさや男らしさという社会的に作られた「性別による固定観念」、愛情があれば暴力を振るったり束縛したりしても良いと思込んでいる「暴力容認」の3点が根底にあると言われています。

好きな相手との楽しい時間が、苦しい時間になってしまうってはいませんか？

デートDVの特徴

「好きだから」「別れたくないから」「やさしいときもあるから」など思っていて、被害に遭っていると認めたくない、気が付かないことから、より大きな被害に繋がってしまうことがあります。

DVは、殴る・蹴るだけではありません

- 身体的な暴力**
殴る 蹴る
たたく 物を壊す
- 精神的な暴力**
どなる 逆ギレする
無視する
友人関係を制限する
「自殺する」と脅す
- デジタル暴力**
メールをチェックする
数分おきに着信する
アドレスを削除する
GPS機能を悪用される
- 性的な暴力**
無理やり性行為をしようとする
避妊に協力しない
- 金銭的な暴力**
お金を貸しても返さない
いつもデート代を出す
(おごらせられる)

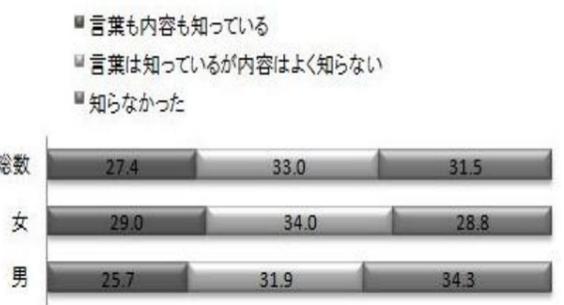


デートDVの現状

平成27年3月に行った国の調査によるとデートDVの認知度は約28%と低く、まだまだ社会に認知されていないことが分かります。

また、交際相手との付き合いの中で、女性の約5人に1人が暴力等を受けたことがあると回答しています。

「デートDV」の認知度



「デートDV」の被害経験



平成27年3月内閣府男女共同参画局 男女間における暴力に関する調査報告書

あなたのことは好きだけど、私らしくいられない。どうしたらいいの？

～デートDVを知っていますか？～

デートDVを理解し、交際相手とよりよい関係をつくっていきましょう

デートDVチェックリスト

- バカにされる
- 大声でどなられる
- 無視される
- 殴ったり、蹴ったり、髪の毛を引っ張ったりされる
- ほかの人と仲良くしていると責められる
- ほかの人とのつきあいを制限される
- メール返信をすぐに返さないと怒られる
- メールをチェックされる
- 常に行動をチェックされる
- 性的行為を強要される
- デートのお金をいつも出している
- 彼(彼女)に会うのが怖い
- 怖くて自分の気持ちが言えない
- いつも彼(彼女)の顔をうかがってしまう

交際相手との関係に悩んでいたなら、右表でチェックしてみよう！
ひとつでも当てはまったら、デートDVの被害に遭っているかも。



デートDVの被害に遭っているかも・・・と思ったら
まずは、自分を大切にしてください。
そして、一人で悩まず、誰かに相談してください。

引用・参考文献
 ○埼玉県「知っていますか？デートDV」パンフレット
 ○埼玉県「With you さよたま広報誌 vol.48」
 ○さいたま市「その恋愛！デートDVかも？」パンフレット
 ○青森県男女共同参画センター情報ライブラリー作成「STOP!デートDV」
 ○秋田県「DV防止啓発資料デートDVを知っていますか」パンフレット

*相談窓口は5ページに記載しています。お気軽にご相談ください。